

産婦人科

医 長： 熊澤 一真、多田 克彦

「指導医と科の概要」

日本産科婦人科学会認定の指導医2名、専門医6名と専攻医2名で診療と指導を行っている。
当院は、2005年4月1日から総合周産期母子医療センターに指定された。妊娠高血圧症候群、多胎妊娠、各種合併妊娠などのハイリスク妊産婦と、超早産が予想される切迫早産や各種胎児奇形の合併したハイリスク胎児・新生児を24時間体制で岡山県下や近県から受け入れ、関係各科の協力を得て管理にあたっている。婦人科領域では、子宮筋腫や卵巣嚢腫などの良性疾患の各種手術や子宮癌を初めとする婦人科悪性腫瘍の集学的治療に取り組んでいる。

「研修の目的と特徴」

産科領域： 正常妊産婦における母体および胎児の基礎的な診察方法を理解する。当院の特徴は、新生児科をはじめとした関係各科の強力なバックアップのもと、他院では管理できないハイリスク症例を受け入れることである。上述したハイリスク妊産婦・胎児に関連した疾患の概念や管理方法について学ぶとともに、母体搬送の実際を体験して頂きたい。

婦人科領域： 最近増加傾向にある子宮筋腫や内膜症といった代表的な良性疾患の診断・治療について理解する。また開腹、内視鏡、経膣といったいろいろなアプローチ法を使った手術についての理解を深める。卵巣癌、子宮癌の早期発見及びその対処法を理解し、さらに悪性疾患の集学的な治療およびターミナルケアについて学ぶ。

「教育方法」

産科領域

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 正常妊娠・分娩に関する理解 | ① 正常妊娠の経過の理解 |
| | ② 正常分娩、産褥の経過の理解と管理 |
| 2. ハイリスク妊娠に関する理解 | ① 前期破水の病態生理と管理 |
| | ② 妊娠高血圧症候群の病態生理と管理 |
| 3. ハイリスク分娩に関する理解 | ① 帝王切開術の適応と実際の手術手技 |
| | ② 未熟児、双胎、骨盤位など異常妊娠の経膣分娩 |
| 4. 検査方法の理解 | ① 胎児心拍数図の理解と判読 |
| | ② 超音波断層法による胎児の診察 |
| 5. 妊産褥婦の精神的ケア | |

婦人科領域

- | |
|----------------------------------|
| 6. 女性の一生を通して、各年代ごとの疾病の特徴について理解する |
| ① 性成熟期月経異常、性感染症の取り扱いについて理解する |
| ② 不妊症の検査、治療を系統的に進める |

③ 更年期障害について理解する

7. 良性疾患の理解

① 子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫などの診断及び治療法につき理解する

8. 悪性疾患の理解

① 子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌の診断及び治療法につき理解する

9. 各種手術法の習得

行事	曜日	時間
周産期カンファレンス	第二水曜日	18:00～19:00
周産期ミニカンファレンス	金曜日	18:00～19:00
抄読会	木曜日	8:30～8:45

「**修練目標**」

疾患名	経験する手技と習得すべき知識	経験症例数
正常分娩	正常経膈分娩の経過の理解。 (可能なら会陰裂傷、切開創の縫合。)	5例 (2例)
帝王切開術	帝王切開の適応と術式。手洗い。	2例
切迫早産	治療・管理概念の理解。	2例
胎児評価	超音波断層法を用いた胎児評価の理解。 胎児循環動態の検査方法。 胎児心拍数図の概念と判読方法。	1例 1例 1例
羊水穿刺	羊水穿刺の適応と実際の手技。	1例
婦人科良性疾患	手術療法を含めた婦人科良性疾患の治療。	2例
婦人科癌	婦人科癌の治療戦略の理解。	1例

「**研修責任者よりひとこと**」

周産期領域に関しては、正常分娩からハイリスク妊産婦・胎児・新生児のほとんどの症例が経験できる。超音波検査や経膈分娩・帝王切開の手技を学べる。

婦人科悪性腫瘍に関しては症例に制限があるが、スタンダードな医療を心がけている。

指導体制は各症例毎に主治医、担当医がそれぞれ指導を行っている。

- 評価:院内の研修マニュアルに従って評価をおこなう

研修希望時の連絡先: 産婦人科医長 : 熊澤 一真、多田 克彦